

第2回

ミッション × 進路指導

具体的に、どんな進路サポートをしてくれるの？

「ミッション」の名で親しまれている北陸学院高等学校は、1885年の創立以来、キリスト教の教えに基づいた人格教育を受け継いできました。生徒と教職員が真摯に学校生活へと向き合う中、一人ひとりの潜在能力が自覚され、表現されていくうちに、進路を含めた人生のキャリア形成を歩むという、独自の進路指導を実践しています。その丁寧な指導方法が高く評価され、少子化の中にあっても入学希望者を増やしてきました。本号では、長年、進路指導に尽力してきた高柳乃輔教頭にお話を聞きます。

セーフティネットの全面支援で 成功体験を進路選択へと導き、 一人ひとりのキャリア形成を促す。

北陸学院高等学校
教頭

たか やなぎ だい すけ
高柳 乃輔

Daisuke Takayanagi

1966年生まれ、富山県出身。金沢大学文学部史学科卒、同大学大学院文学研究科修士課程修了。91年より北陸学院短期大学および高等学校で教壇に立ち、98年より高等学校の専任教諭に。担当教科は地理・歴史と公民。2004年より進路指導課主任。平成27年度いしかわ教育功労者表彰、平成27年度文部科学大臣優秀教職員表彰を受ける。2017年より高等学校教頭。

幅広い 進路に対応



生徒の志望実現を最大限に支援するため、難関大学への進学から就職まで、幅広いサポートを備えていることが、本校の進路指導の強みです。入学時より講習会に参加し、個人面談を重ねます。1年次から進路を意識できる生徒は、一人ひとりに与えられた力を何に活かすのか、その使命（ミッション）をもイメージしながら、次のステップへと挑戦します。

勉強プラス もうひとつ



既存の推薦入試やAO入試、新しい選抜方法でさえも、生徒一人ひとりが、学校生活での経験を土台にし、志望理由を表現する必要があります。ミッション生は、教育方針「勉強プラスもうひとつ」のもと、さまざまな経験から自身の進路へと気づく道が開かれており、経験談を交えながら自分の意見や考えを明確に伝えることができ、成功へと繋がります。

充実した 特別推薦枠



本校は同志社大学に14名、関西学院大学に21名、明治学院大学に6名の特別推薦枠のほか、全国におよそ130大学・約650名の指定校推薦枠を有しています。独自の校内選考基準を設けており、3年次には総字数4500字のエントリー用紙を自ら仕上げ、面接を受けます。内定を得てからも、自信をもって一人ひとりが希望する進路へと歩めるようサポートしています。

多様な進路方法を選択できる ミッション独自の進路指導

今春も卒業生の70%以上が現役で4年制大学に進みました。北陸学院大学はもとより同志社大学などの実績ある私立大学に多数が進む中、難関校に挑む特別進学コースだけでなく、総合進学コースからも一般入試で富山大学に合格したことに、学年全体の学力の伸長を実感しています。

15年前に初めて進路指導を担当したときは、4年制大学への進学率は30%未満でした。「全員がそれぞれに最適な進路を選ぶような支援を」。そんな思いを強くした私たちは、独自の進路指導を追求しました。

それは、キリスト教に基づいた人格教育を土台に、生徒一人ひとりが与えられた力を何に活かすのか、その使命（ミッション）をイメージしながら、成功体験を進路選択へ、さらにキャリア形成へと導いていくブランドデザインを構築するものでした。

目標に向かって学びを深める生徒を支援すると同時に、推薦入試と一般入試の両方に対応できるセーフティネット的な指導を進めていきました。生徒全員が1年次から小論文講習会や模擬試験、大学説明会に参加し、3年次には志望理由の添削にも挑戦します。「大学合格だけが目標ではありません。進学後も主体的に学べる積極性を育てているのです」と毎年説明会で述べてきましたが、当初は奇妙に思われたかもしれませんね。

しかし、予測不能な問題が次々に現

れ、既存の学びでは社会変化に対応しきれなくなってきた今、受験のための勉強ではなく、キャリア形成の扉として多様な進路方法を支える本校の指導は、図らずも社会のニーズに合致するものとなりました。

これからの時代が求めるのは 自ら新しい価値を創造する力

答えが簡単に見つからない社会では、環境変化に対応できる柔軟性や、多様な人々と協働して課題解決する力が必要です。大学入試改革においても思考力・判断力・表現力が重視され、推薦入試やAO入試による進学者が半数近くになりました。そうした動向を本校は期せずして先取りしており、教育方針「勉強プラスもうひとつ」を通じて自ら新しい価値を創造できる社会人、つまり自身の使命を実現できる人格を育てています。

本年度はこのキリスト教教育に基づく実践を「BE DO TO」のテーマで追究すると同時に、英語4技能の強化、ICTを使った授業、国語科の論理エンジン、振り返りを重ねて判断力や表現力を養うポートフォリオなど、多様な取り組みを通じて新選抜制度への対応を進めています。

指定校推薦枠がますます充実 豊富な情報やノウハウで支援

本校の指導をセーフティネットのようだと申しましたが、前述の取り組みに加え、全国の私立大学に多数の指定校推薦枠を持つことも進路選択上の安心になっているのではないのでしょうか。多様な選択肢がある上に、同志社大学や明治学院大学に特別枠を持つとともに、今春の関西学院大学との協定により推薦枠が全学部に拡大しました。さらに、学校長推薦による北陸学院大学進学者には授業料の大幅な減免制度もあります。

推薦枠がこれほど充実しているのは、校内選考が明確に行われ、卒業生の進学先での活躍を大学側にご理解いただいているからです。また、進路指導部の教員を中心に大学とのやりとりを緊密に行い、教員全員で情報の共有に努めており、ノウハウを豊富にしていることも、本校の成長の支えとなっています。近年、大都市圏の私立大学が一般入試の合格枠を縮小させた上、補充合格が3月末まで続くという現象が起きています。本校のセーフティネット的な進路のあり方が真価を発揮する時期にきているのかもしれない。

社会の変化に伴い、保護者の役割も「保護する存在から自立の支援者へ」と変わってきています。生徒一人ひとりが自立に向かうための本校のキャリアラム・マネジメントに、ぜひご注目ください。

育てたい生徒像

BE 自他の「存在の価値」を知り、感謝し、喜べる生徒

DO 自他の能力を活かし、自発的に喜んで行動する生徒

TO 自らの使命に向かう志と目標を持っていく生徒

2019 OPEN SCHOOL 体験入学・クラブ体験のご案内

参加お申し込みは、各小中学校より配布予定のハガキかFAX、電話、本校ホームページよりお願いします。

北陸学院高等学校

▶体験入学
2019年7月26日(金)
▶クラブ体験
2019年8月21日(水)

●対象
中学3年生の男女生徒とその保護者

北陸学院中学校

▶体験入学
2019年7月27日(土)

●対象
小学5・6年生の男女児童とその保護者



先輩たちが
ご案内!

ミッションならでの「学ぶ環境」!



グロリア・チャペル

毎朝の礼拝を行うチャペルです。創立100周年を記念して導入したパイプオルガンの音色に心を落ち着かせ、自分と向き合います。



電子黒板

すべての教室に設置。動画や音声、画像を使いながら授業を行うため、生徒の興味・関心を引くことができます。

生徒たちが、教員に質問しやすい環境を職員室前に整備。休み時間や放課後に活用しています。

学習スペース

中学生のお子様をもつ保護者の方へ

スカラシップ奨学金制度^{*1} 下記成績優秀者の3年間の授業料を無償^{*2}とします

- ①本校の入学試験で5教科の合計点が400点以上の入学者
- ②本校を推薦入試(専願・併願とも)で受験し合格した者のうち、3年次の9教科評定の合計が本校の定める基準以上の入学者

^{*1}①②ともに特別進学コース・総合進学コースどちらのコースを受験した場合も適用されます。

^{*2}1:本制度は、入学後、著しい成績不振等により打ち切り・中断となることもあります。
^{*3}2:入学金や教科書代、副教材代、修学旅行費などは含まれません。
^{*4}3:世帯収入によって金額が変わります。
^{*5}4:毎月の授業料から「高等学校等就学支援金制度」の支給額を差し引いた金額です。

従来	就学支援金が1倍の場合 ^{*3}	1年目	2年目	3年目
授業料 29,000円	高等学校等就学支援金 -9,900円	高等学校等就学支援金 -9,900円	高等学校等就学支援金 -9,900円	高等学校等就学支援金 -9,900円
授業料	北陸学院高校スカラシップ奨学金制度を利用した場合	スカラシップ奨学金制度 ^{*4} -19,100円	スカラシップ奨学金制度 ^{*4} -19,100円	スカラシップ奨学金制度 ^{*4} -19,100円
合計29,000円/月	合計19,100円/月	3年継続して 合計0円/月		

2018年度の大学入試結果から 合格実績で見る「進学力」

本校の進路指導は、生徒の志望や個性を尊重しながら実現へと導くことが特長です。入学時より実践的な講習会を開催するなど、早い段階から卒業後の姿を意識させ、進路に向かってどんな学習が必要なのかを具体的にしていきます。一人ひとりへのきめ細やかな指導により、現役での4年制大学進学率が4年連続70%を超えました。

パブリシティ企画
HokurikuGakuin Senior High School
北陸学院
高等学校

◆コース紹介

特別進学コース

確かなサポート体制で、推薦入試はもちろん、センター試験を含む一般入試にも対応できるハイレベルなコース。同志社大学への特別推薦や有名私立大学の指定校推薦も充実しており、多様化する入学試験制度に対応しています。

総合進学コース

主に推薦入試で4年制大学を目指すコース。全国のおよそ130大学に約650名の推薦枠を有し、北陸学院大学への特別推薦枠が充実しています。大学から就職まで幅広い進路の選択が可能なコースです。
※選択科目によって理系大学や看護系の学校への進学も可能です。

◆2019年度大学入試結果

国公立大学

富山大学 2名
理学部 物理学科
理学部 生物圏環境科学科

石川県立大学 2名
生物資源環境学部 生産科学科

石川県立看護大学 1名
看護学部 看護学科

公立小松大学 1名
国際文化交流学部 国際文化交流学科

難関私立大学

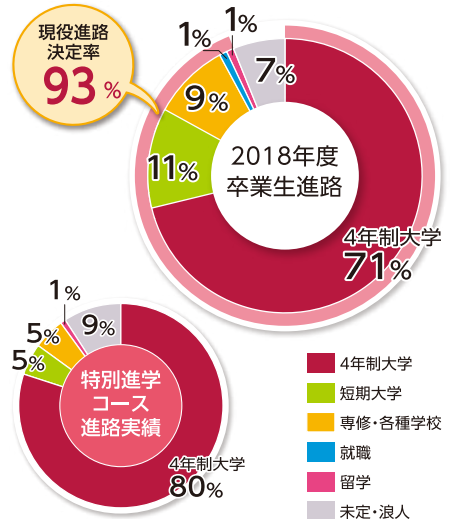
同志社大学 10名
経済・社会・神・心理・政策・生命医科・文化情報・法・理工

関西学院大学 9名
教育・国際・人間福祉・文・法・理工

明治学院大学 5名
国際・社会・心理・法

青山学院大学 1名
文学部

進路結果実績



他にも!

生徒それぞれが進路実現に向けて羽ばたいています!

大阪学院大学、大阪芸術大学、金沢医科大学、金沢工業大学、関西外国語大学、京都外国語大学、京都産業大学、近畿大学、神戸女学院大学、女子美術大学、仁愛大学、東海大学、東京女子大学、東京造形大学、同志社女子大学、名古屋外国語大学、日本福祉大学、法政大学、立命館大学...など

なぜ北陸学院高等学校が選ばれるのか?

MISSIONの「教育力」

Educational Capability

分野別進学説明会

4年制大学や短期大学、専門学校などの学校を招き、校内で「学校説明会」を開催。生徒たちは、早い時期から進路への関心を高めます。



卒業レポート発表会

推薦で進学を決めた生徒が、進学先の学科に関連したレポートを在校生に発表する機会。発表者、下級生ともに意識を高めます。



表現力の強化

小論文対策として、「論理エンジン」を使った読み書きの練習や、行事ごとに活動記録を作文させることにより表現力を鍛えています。



月刊北國アクタス2019年7月号掲載記事

北陸学院高等学校
北陸学院中学校・高等学校

〒920-8563 金沢市飛梅町1-10
高校 / TEL.076-221-1944 FAX.076-224-4398
中学 / TEL.076-262-3012 FAX.076-262-3096



<http://www.hokurikugakuin.ac.jp/sj/>

Realize Your Mission
あなたの使命を実現しよう